

平成28年度

町内「子どもの生活・意識アンケート」



1 実施主体 富士河口湖町立教育センター

2 実施対象 富士河口湖町の小中学生

回答数

小学校3年生 229名 小学校5年生 216名

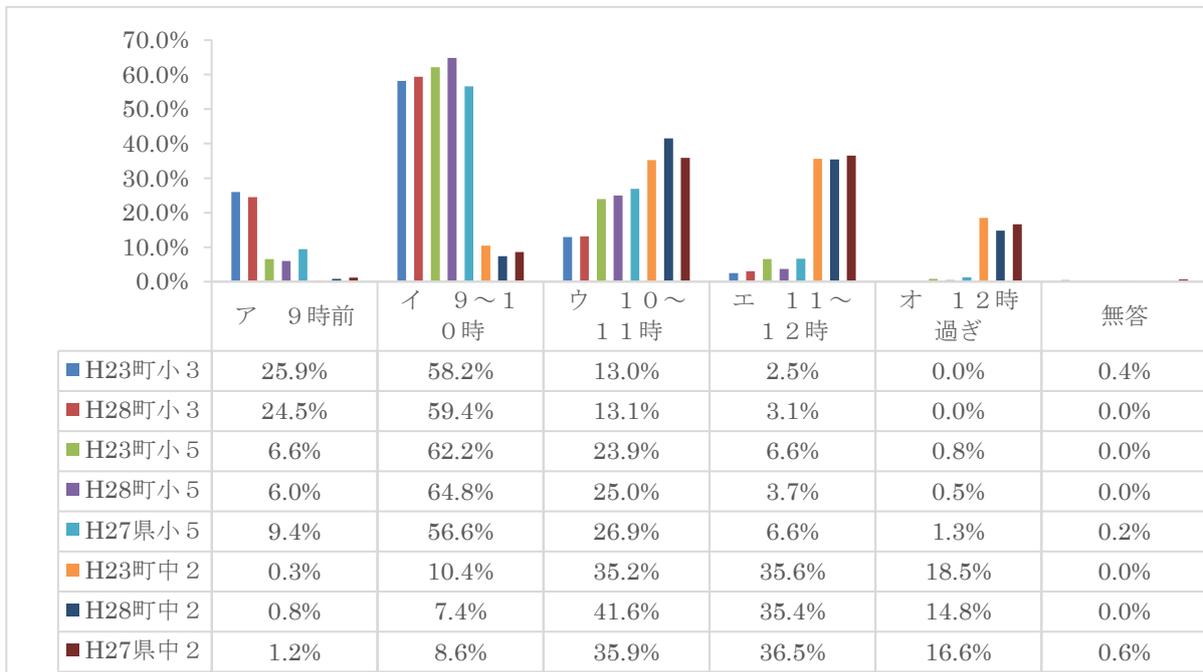
中学校2年生 243名

計688名

3 実施時期 平成28年7月

参考 ・平成23年度は、前回教育センターで行ったもの
・県のは平成27年度11月に山梨県教育研究所から出されたもの

問1 夜ねるのは何時ごろですか。



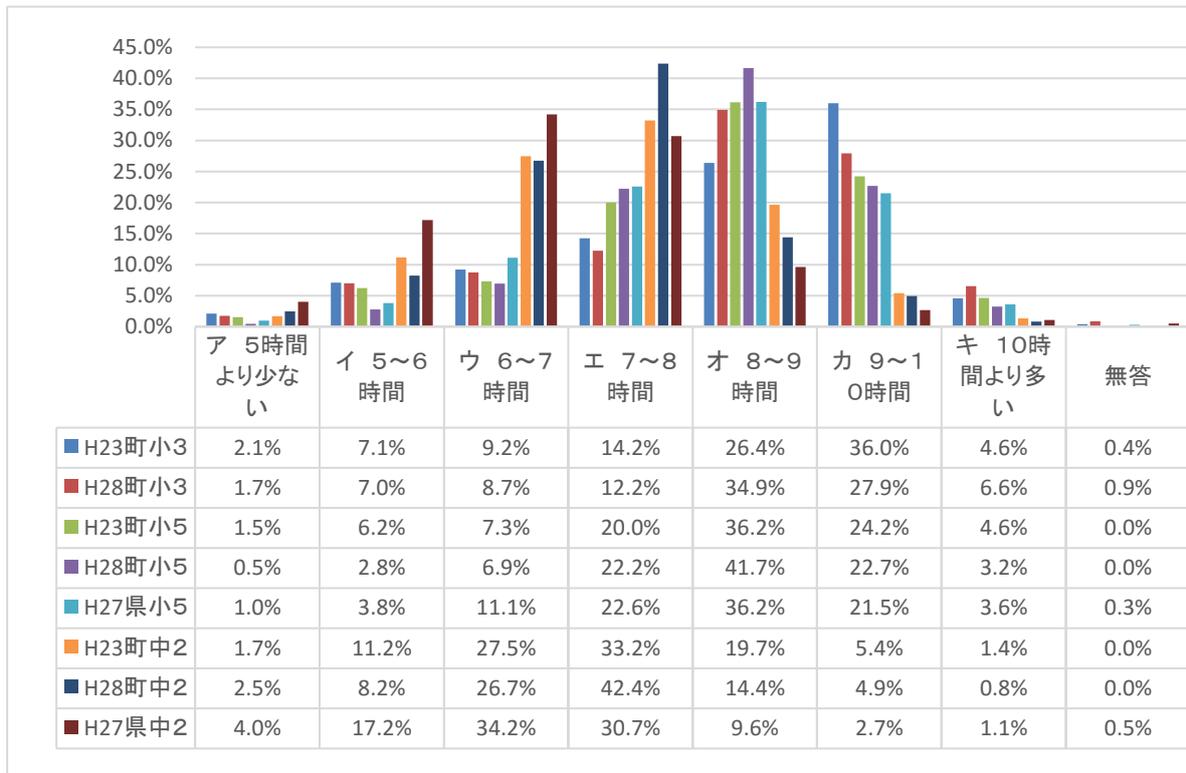
<小学生>

- 小学生の就寝時間の最も多いのは9時から10時で、約6割を占める。
- 小学生は11時までに約95%が就寝している。
- H23年とH28年で小学生はほとんど変化がない。
- 町と県の小5を比較すると若干町の小学生の方が、就寝時間が早い傾向にある。

<中学生>

- 中学生の就寝時間の最も多いのは10時から11時で、約4割を占める。
- 中学生は12時までに約85%が就寝している。
- 中学生の約15%の就寝時間が12時を過ぎている。
- 中学生の方が、小学生に比べて明らかに就寝時間が遅い。
- 町の中2について、H23年に比べてH28年は若干就寝時間が早くなっている。
- 町の中2について、H23年とH28年を比べると9時から10時の生徒の割合と12時過ぎの生徒の割合は減少し、10時から11時の生徒の割合が増加している。

問2 すいみん時間はどれくらいですか。



<小3>

- 睡眠時間の一番多い時間帯は8~9時間で約35%であり、次いで多い9~10時間を合わせると約6割となる。
- H23年とH28年を比較すると、8~9時間と10時間以上の時間帯では割合が増加している。それ以外の各時間帯での割合は減少している。

<小5>

- 睡眠時間の一番多い時間帯は8~9時間で40%を超え、次いで多い9~10時間と合わせると6割を超える。
- H23年とH28年を比較すると、7~8時間と8~9時間の時間帯では割合が増加しているが、それ以外の各時間帯での割合は減少している。
- 睡眠時間の短い子どもたちの割合は減少し、また睡眠時間の長い子どもたちの割合も減少している。
- 県の小5と町の小5を比較すると、7~8時間以下の各時間帯の割合がいずれも町の方が低く、町の子もたちの方が、睡眠時間が長い傾向がある。

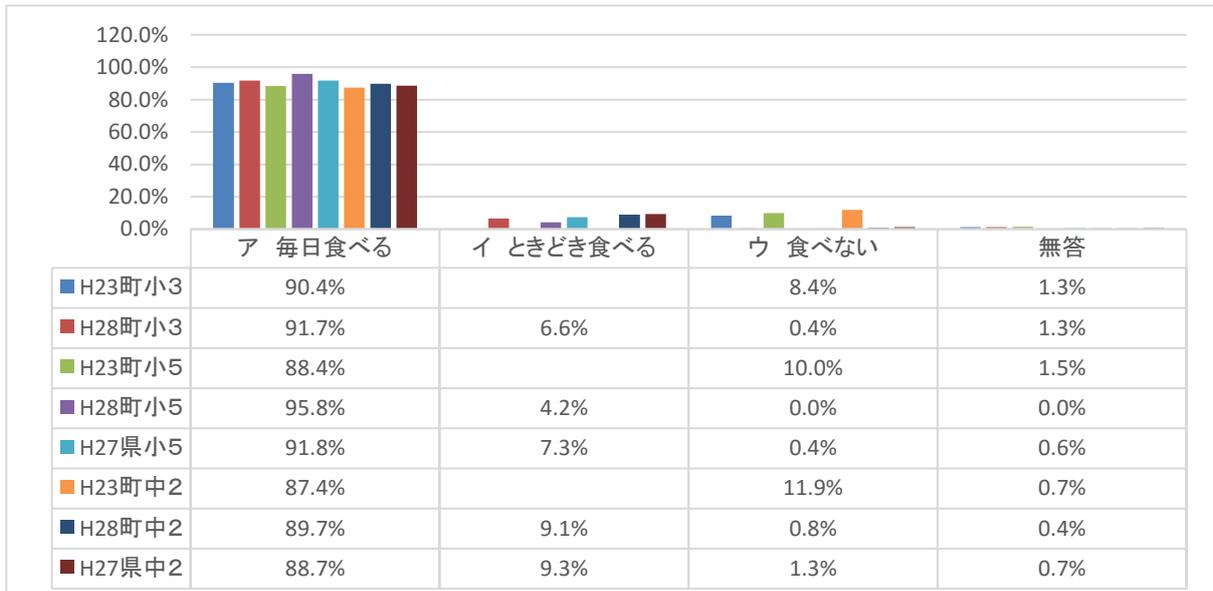
<中2>

- 睡眠時間の一番多い時間帯は7~8時間で40%を超え、次いで多い6~7時間と合わせるとほぼ7割となる。
- H23年とH28年を比較すると、睡眠時間の8時間以上の比較的長い各時間帯での割合が減少しており、睡眠時間の長い子どもたちの割合が減少している。
- 県と町を比較すると、6~7時間帯以下の各時間帯でいずれも町の子もたちの割合が低く、県の子もたちの方が町に比べて睡眠時間の短い子どもたちの割合が多い。

<全体>

- 学年が上がるにつれ睡眠時間は短くなる傾向にある。

問3 朝食を食べて学校に行きますか。朝食をとらずに学校に行くことがありますか。



※H23年とH28年で問の形が違う。H23年の問は「朝食をとらずに学校に行くことがありますか」で選択肢は「ア はい イ いいえ」。そこで、H23年の「ア はい」をH28年の「ウ 食べない」としてカウント、H23年の「イ いいえ」は「ア 毎日食べる」としてカウントした。

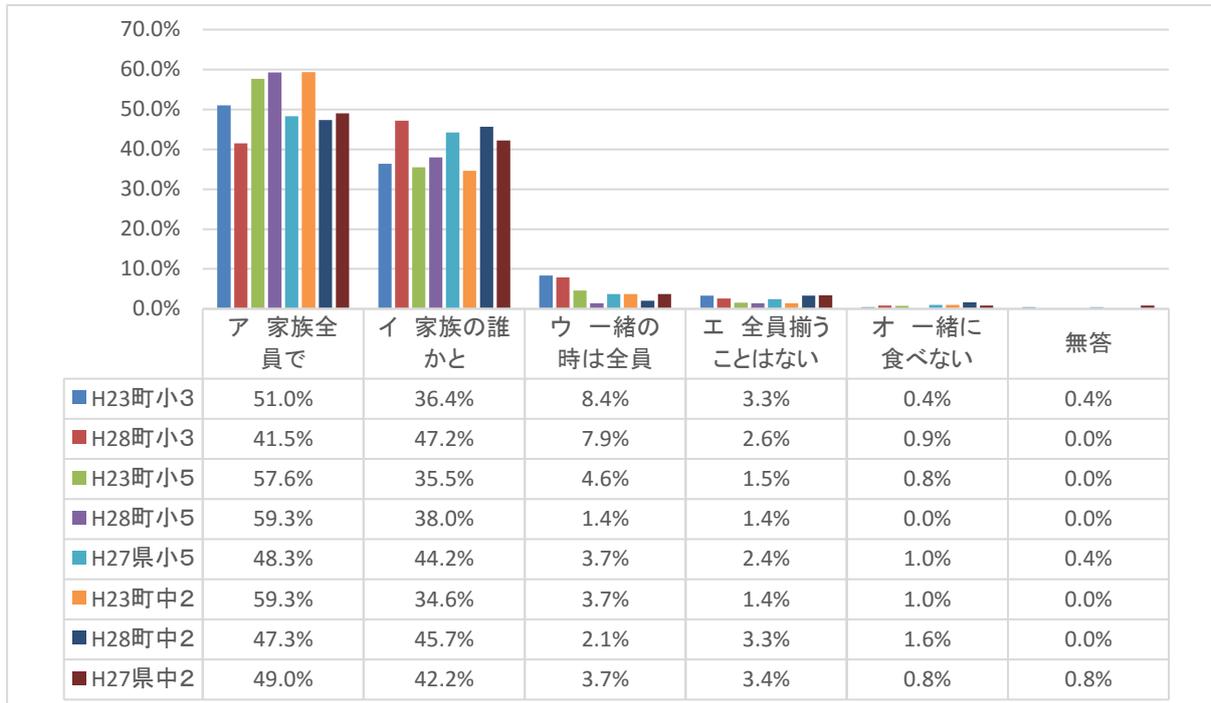
<全体>

○全体的に朝食を食べて学校に行く割合は高く、小学生では9割以上、中2でもほぼ9割となっている。

○朝食をとらずに学校に来ている子どもたちについては、「ときどき食べる」と「食べない」を合わせると7%~10%となっている。(小3・7.0%、小5・4.2%、中2・9.9%)

○食べない子の割合は大変少なく1%未満であるが、その理由を明らかにしていくことが、子どもたちの置かれている状況の実態把握に繋がると考えられる。

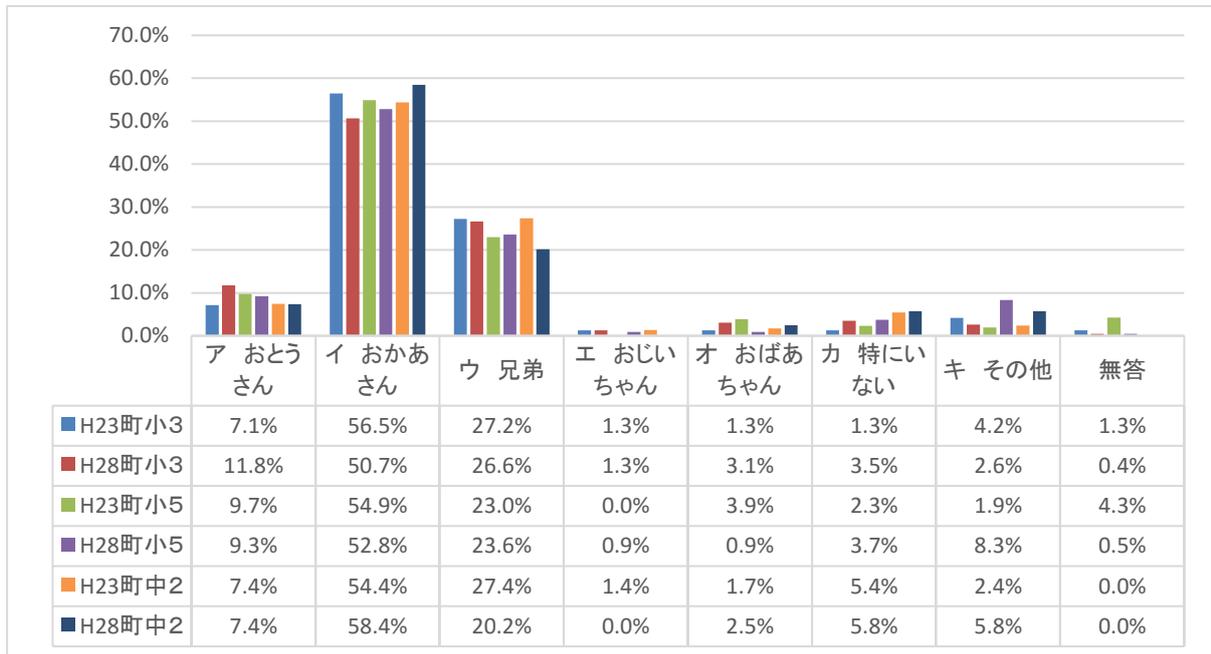
問4 夕食を家族の人と食べていますか。



<全体>

- いつも家族の誰かと一緒に食事をとっている子どもたち（アとイの合計）が、小3で 88.7%、小5で 97.3%、中2で 93.0%となっている。
- いつも家族と一緒に食べているわけではない子どもたち（ウ、エ、オの合計）が、小3で 11.4%、小5で 2.8%、中2で 7.0%となっている。
- 小3と中2では、H23年とH28年を比較すると、家族全員で食事する割合が10%前後減少し、その分家族の誰かと食事する割合が増えている。

問5 家で一番話すのはだれですか。



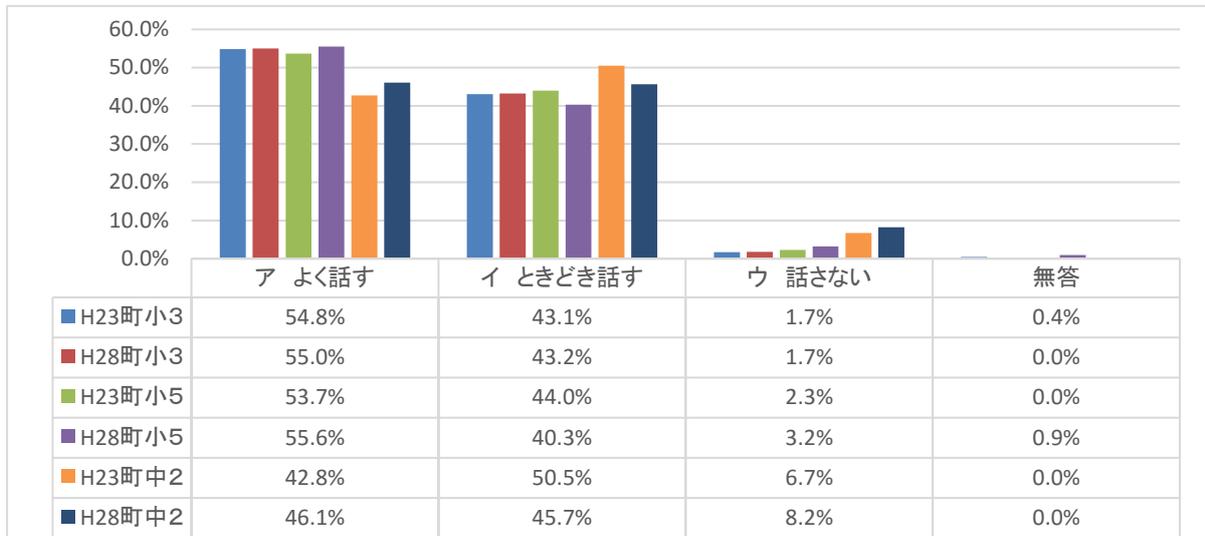
※その他の回答

- ・お父さん、お母さん、妹
- ・家族全員
- ・家族全員
- ・犬（小5）

<全体>

- 家で一番話すのはお母さんで、小中ともに50%を超えている。
- 二番目に話すのは、小中とも兄弟となっていていずれも20%台となっている。
- H28年の結果では、お母さんの割合は学年が上に行くに従って増加している。
- 逆に、兄弟とお父さんの割合は学年が上がるに従って減少している。

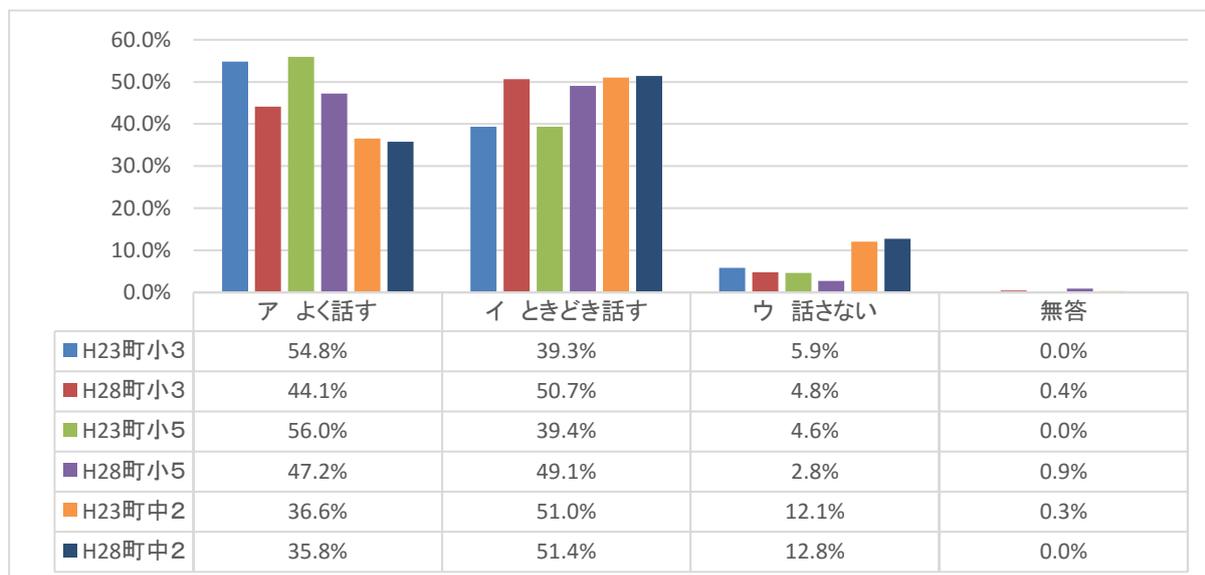
問6 親とどんなことについて話をしますか。(1) 学校でのできごと



<全体>

- 学校のできごとについては、それぞれの学年で90%以上（「よく話す」と「ときどき話す」を足した割合）の子どもたちが親と話をしている。
- 学校のことを話さない割合は、学年が上がるに従って高くなっている。
- 学校のことを話さない割合が、H23に比べて、小3は変わらないが、小5と中2では高くなっている。

問6 親とどんなことについて話をしますか。 (2) 友だち

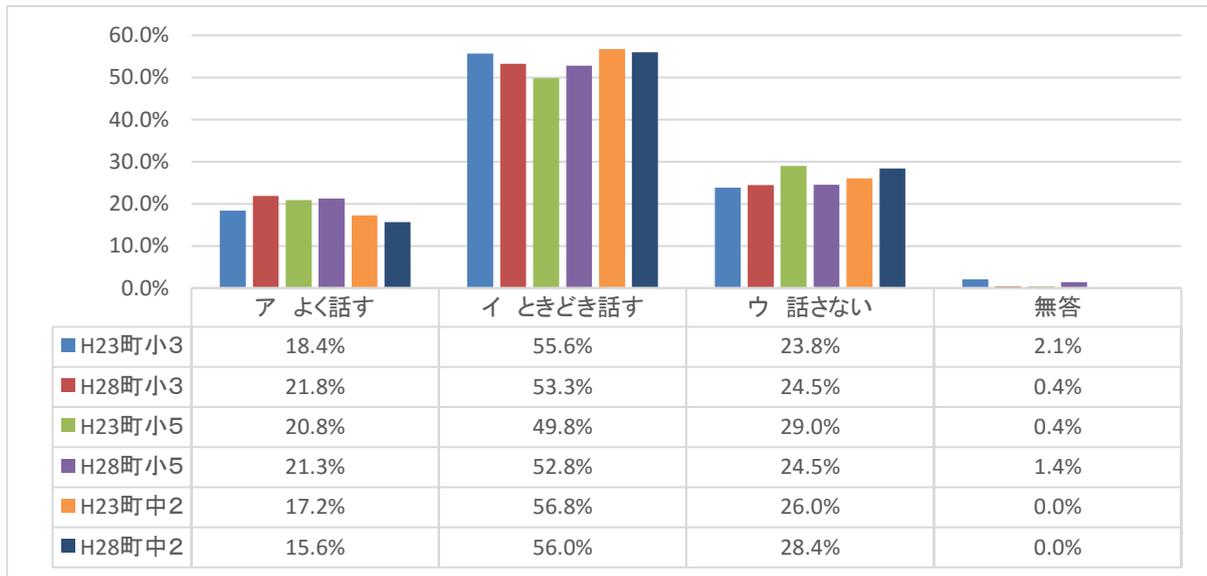


<全体>

○友だちについても、多くの子どもたちが親と話しており、小3で94.8%、小5で96.3%、中2で87.2%（「よく話す」と「ときどき話す」を足した割合）となっている。

○友だちのことを話さない割合は、中学生になるとグンと高くなっており、小学生の段階で5%未満であったものが中学生では12%を超えている。

問6 親とどんなことについて話をしますか。 (3) 将来や進路



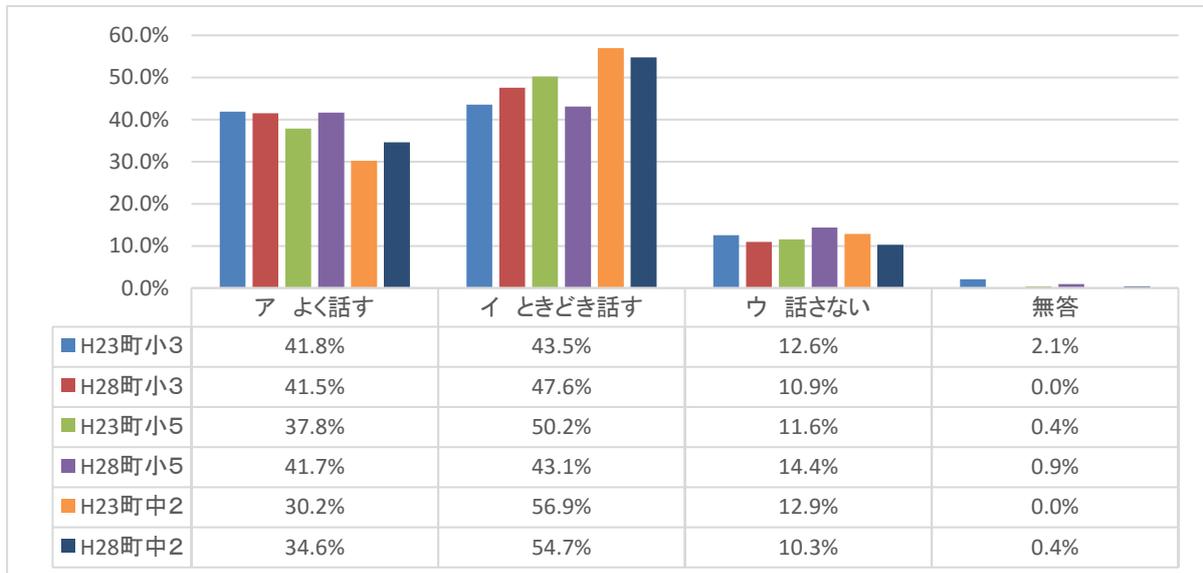
<全体>

○前の問いの『学校のこと』『友だちのこと』に比べて、各学年とも「よく話す」割合が半分以下に減っている。

○将来や進路について親と話をする子どもたちは、小3で75.1%、小5で74.1%、中2で71.6%（「よく話す」と「ときどき話す」を足した割合）でほぼ4分の3の子どもたちが親と話をしている。

○将来や進路について親と話をしていない子どもたちが、どの学年でも4分の1程度いる。

問6 親とどんなことについて話をしますか。 (4) 勉強や成績

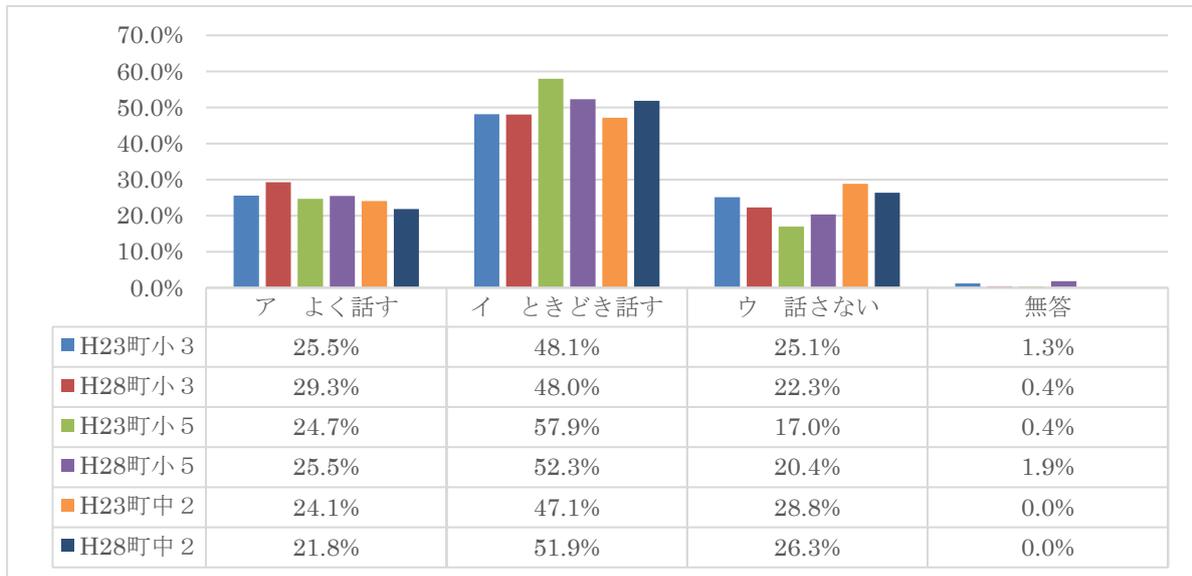


<全体>

○勉強や成績について、多くの子どもたちが親と話をしており、小3で89.1%、小5で84.8%、中2で89.3%（「よく話す」と「ときどき話す」を足した割合）となっている。

○H23年と比べて、小5と中2では「よく話す」割合が増加している。

問6 親とどんなことについて話をしますか。 (5) 社会の出来事やニュース



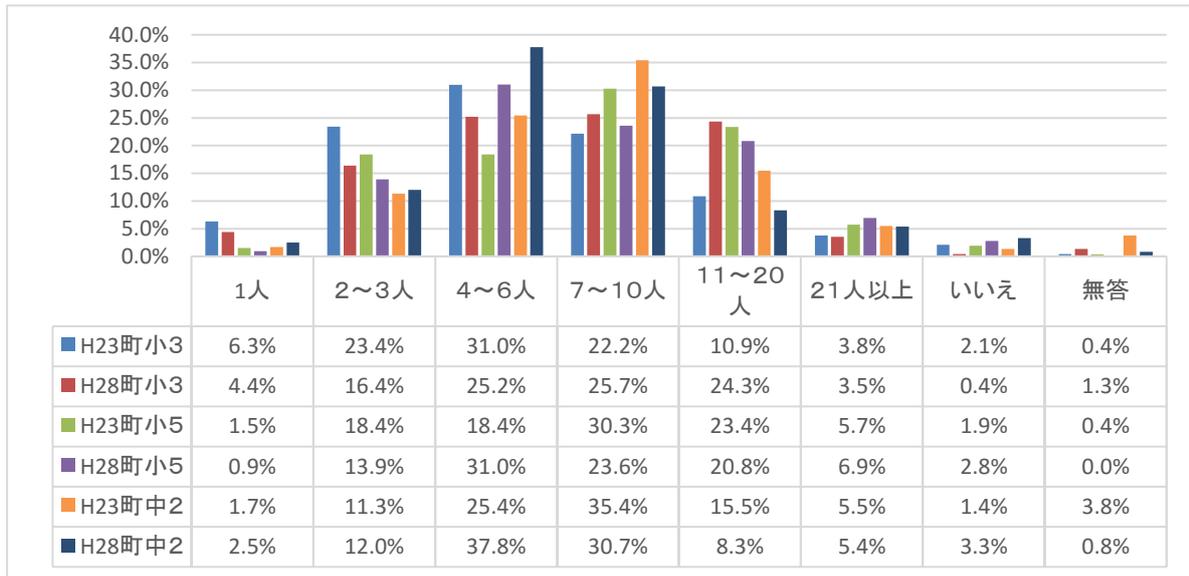
<全体>

○どの学年も最も多いのは、「イ ときどき話す」でほぼ5割となっている。

○どの学年も、社会の出来事やニュースについて話す（「ア よく話す」と「イ ときどき話す」の合計）が7割を超え、小学生では8割に近い。

○社会の出来事やニュースについて話さないが、どの学年も20%以上で、中2がやや多く25%を超える。

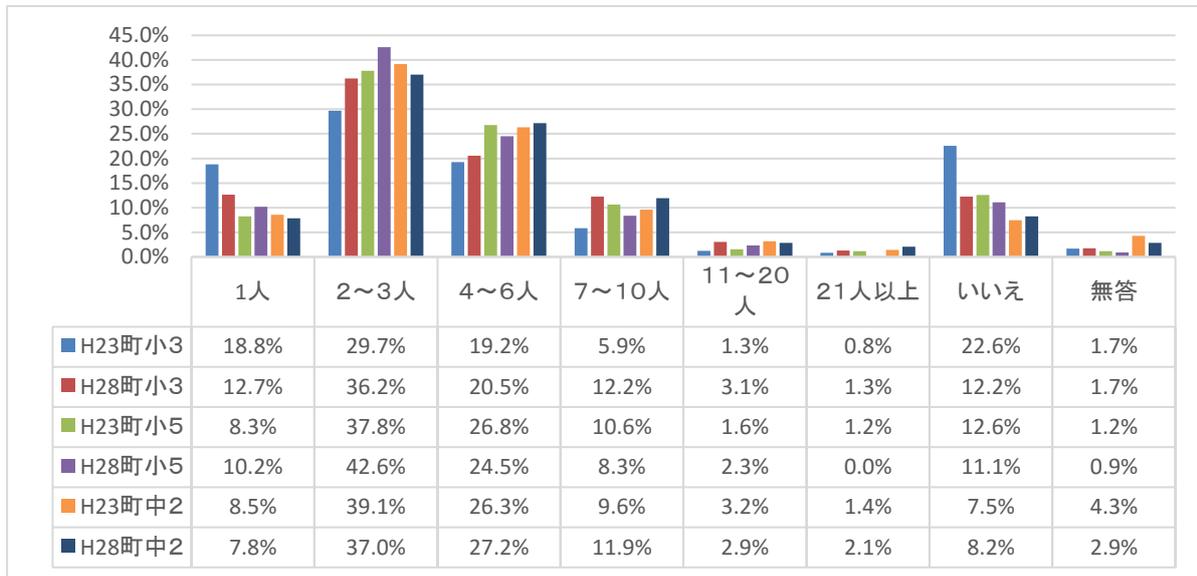
問7 (1) 日ごろよく話をしたりいっしょに遊んだりする友だちはいますか。



<全体>

- 日ごろよく話をしたり一緒に遊んだりする友だちについては、いないと答えている割合は低く、各学年とも5%以下であるが、学年が上がるに従い増加している。
- 1人と答えている人の割合も低く、各学年とも5%以下。
- 一番多い層は、小3で「7~10人」で25.7%、小5で「4~6人」で31%、中2で「4~6人」で37.8%。二番目は小3で「4~6人」で25.2%、小5で「7~10人」で23.6%、中2で「7~10人」で30.7%。この2つの答えの割合を合わせると「4~10人」は各学年とも50%を超え、中2では7割近くなる。
- 「11~20人」という答えは、小学生に比べ中2では割合が大きく減っている。

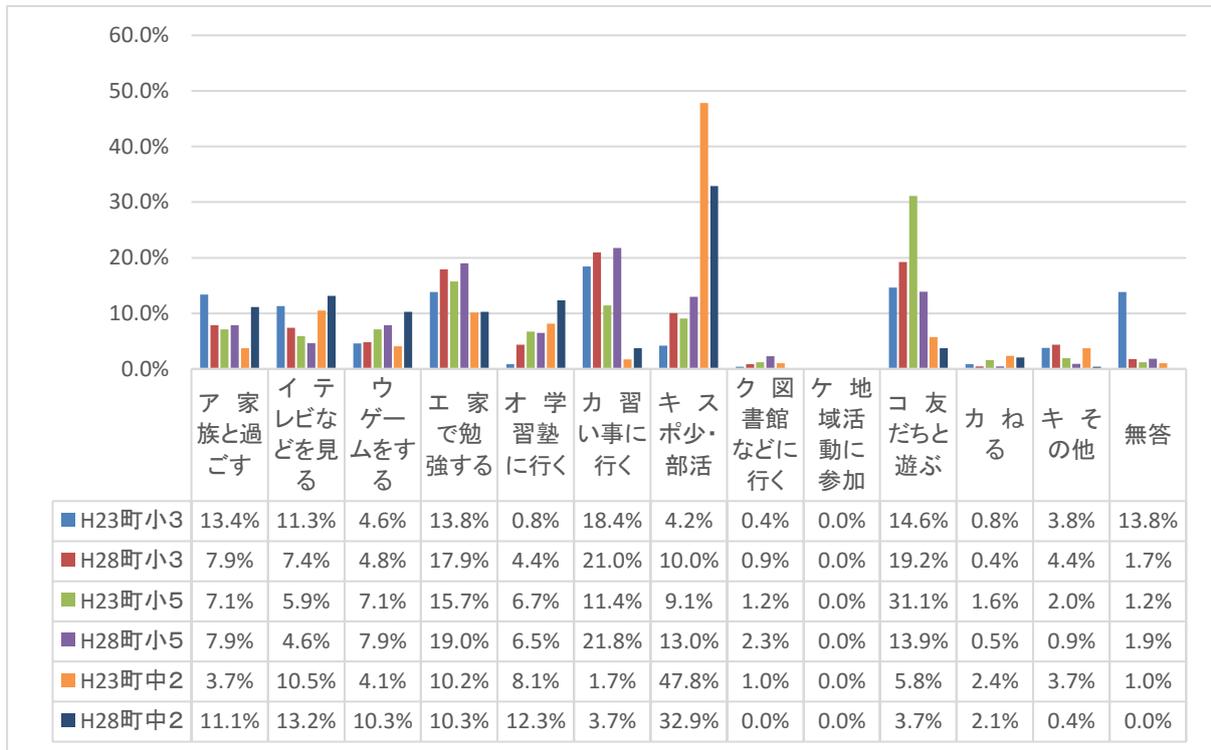
問7 (2) 悩みごとを相談できる友だちはいますか。



<全体>

- 悩みごとを相談できる友だちがいないと答えている子どもたちが、各学年とも 10%前後いる。
- 小3のみH23に比べ、「いいえ」が大きく減少している。
- 一番多い答えは、各学年とも「2~3人」で、小3が36.2%、小5が42.6%、中2が37.0%。次に多いのは各学年とも「4~6人」で、これはH23とも同じ傾向。
- 1人と答えた割合は、各学年とも10%前後で、学年が上がるに従い減少している。
- 前問と比較すると、日頃よく話したり遊んだりする生徒に比べて悩みごとを相談できる生徒がかなり少ないことがわかる。例えば、いない（「いいえ」）の割合は、小3で約30倍、小5で約4倍、中2で約2.5倍となっている。全体の分布も前問よりも左側（少ない人数）の方に寄っている。

問8 (1) 放課後はどのようにすごしていますか。



※その他の回答

- ・ふれあいセンターにいる
- ・パソコン
- ・おじいちゃん、弟と遊ぶ
- ・おばあちゃんのお手伝い (小3)

<全体>

○小中で放課後の過ごし方に大きな違いがある。

○小3・小5の一番多いのは、「カ 習い事に行く」で2割を超えており、中2は「キ スポ少・部活に行く」で3割を超えている。

○小学生の割合の多い上位3つは、「カ 習い事に行く」「エ 家で勉強する」「コ 友だちと外で遊ぶ」。それに対して、中2は「キ スポ少・部活に行く」「イ テレビなどを見る」「オ 学習塾に行く」となっている。

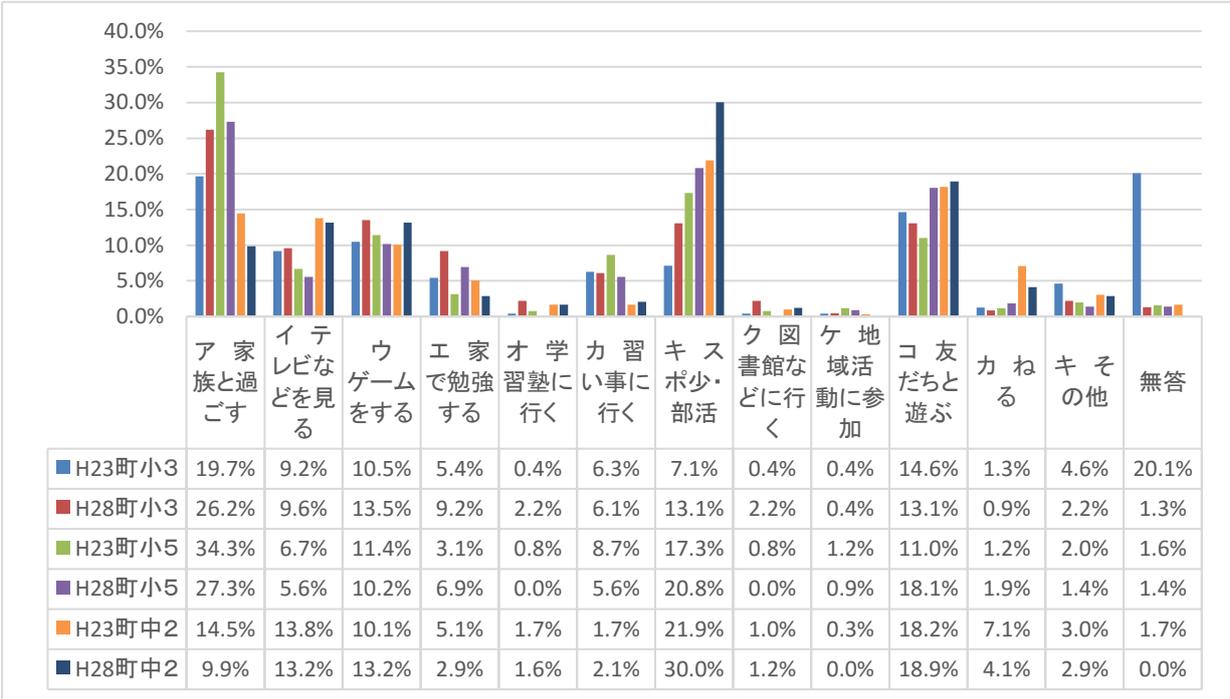
○H23 と比べ、小学生で割合の増加が比較的大きいのは「エ 家で勉強する」「カ 習い事に行く」「キ スポ少・部活に行く」。

中学生では、割合の増加が顕著なのは「ア 家族と一緒に過ごす」で3.7%から11.1%に、「ウ ゲームをする」は4.1%から10.3%に、「オ 学習塾に行く」の8.1%から12.3%となっている。

○H23 よりも答えの割合が10%以上減少しているのは、小5の「コ 友だちと遊ぶ」で-17.2%、中2の「キ スポ少・部活に行く」で-14.9%。

逆に10%以上増加しているのは、小5の「習い事に行く」で+10.4%。

問8 (2) 休日はどうすごしていますか。



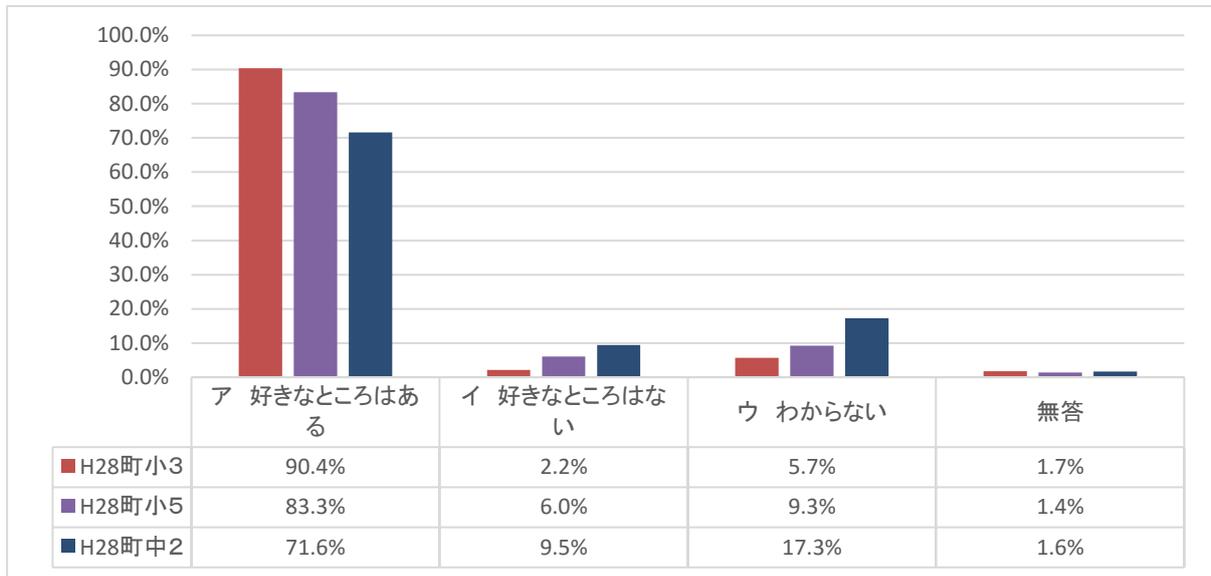
※その他の回答

- ・休む ・児童館で勉強する ・おじいちゃん、弟と遊ぶ（小3） ・自転車で家の周りを走る（小5） ・スポーツクラブ、パソコン、ボーイスカウト（中2）

<全体>

- 小中で最も割合の高い回答には大きな違いがある。小3・5では「ア 家族と一緒に過ごす」でそれぞれの学年が26.2%、27.3%だが、中2では5番目で10%を切っている。
- 中2も最も割合の高い回答は、「キ スポ少・部活に行く」で30.0%。これは、前問の放課後と同じだった。
- 中2は、放課後も休日も割合の高い回答は同じ傾向が見られるが、放課後に比べ休日の方が、「エ 家で勉強する」と「オ 学習塾に行く」が減少し、「コ 友達と遊ぶ」が増加している。
- 小3、小5、中2で、共通して高い回答は「コ 友達と遊ぶ」。
- H23に比べて、3学年とも増加している回答は「キ スポ少・部活に行く」の1項目のみ。
- H23に比べて、最も増加している回答は中2の「キ スポ少・部活に行く」で+8.1%。逆に最も減少している回答は小5の「ア 家族と一緒に過ごす」で-7%。
- 前問の放課後の過ごし方との傾向の違いは、小3・小5では「ア 家族と一緒に過ごす」の増加が顕著で、その他「キ スポ少・部活に行く」「ウ ゲームをする」などが増加しているなどである。逆に減少が顕著なのは「エ 家で勉強する」「オ 学習塾に行く」「カ 習い事に行く」などである。
- 前問との違いで、中2では、「コ 友達と遊ぶ」の増加が顕著で、逆に減少は「エ 家で勉強する」「オ 学習塾に行く」など。

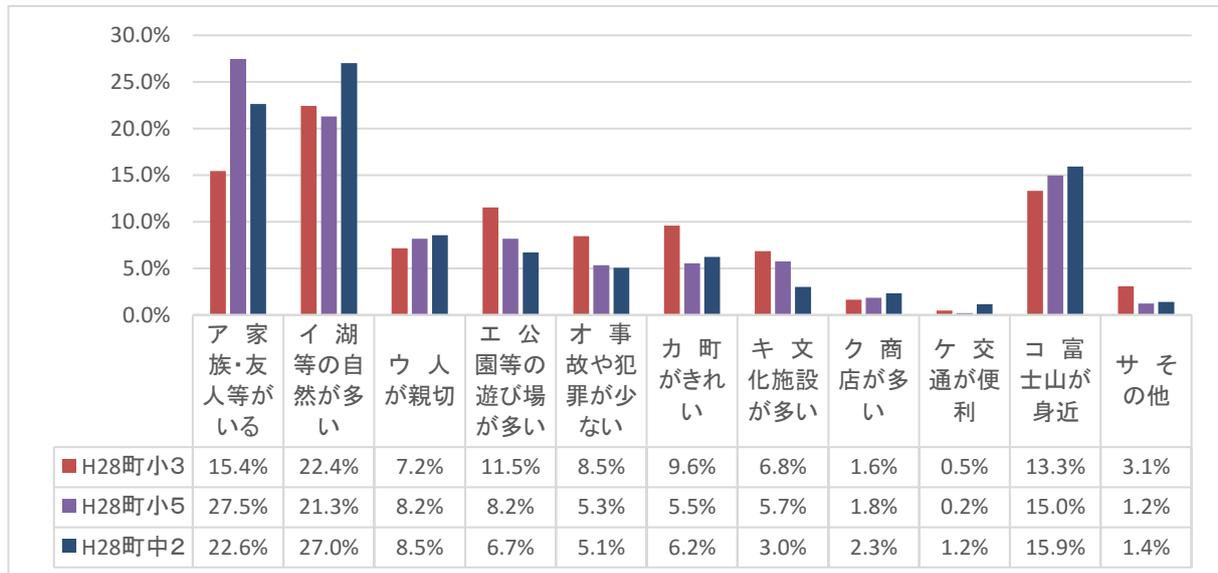
問9 住んでる町や地域で好きなところがありますか。



<全体>

- 全体では8割程度の子もたちが好きなところはあると答えている。小3で9割、小5で8割、中2で7割を超えている。
- 学年が上がるに従って、「ア 好きなところはある」は割合が下がり、「イ 好きなところはない」「ウ わからない」は割合が上がっている。
- 中2で、「イ 好きなところはない」が1割、「ウ わからない」が2割近くになっている。

問10 好きなところがあると答えた場合、どういうところが好きですか。(3つまで)



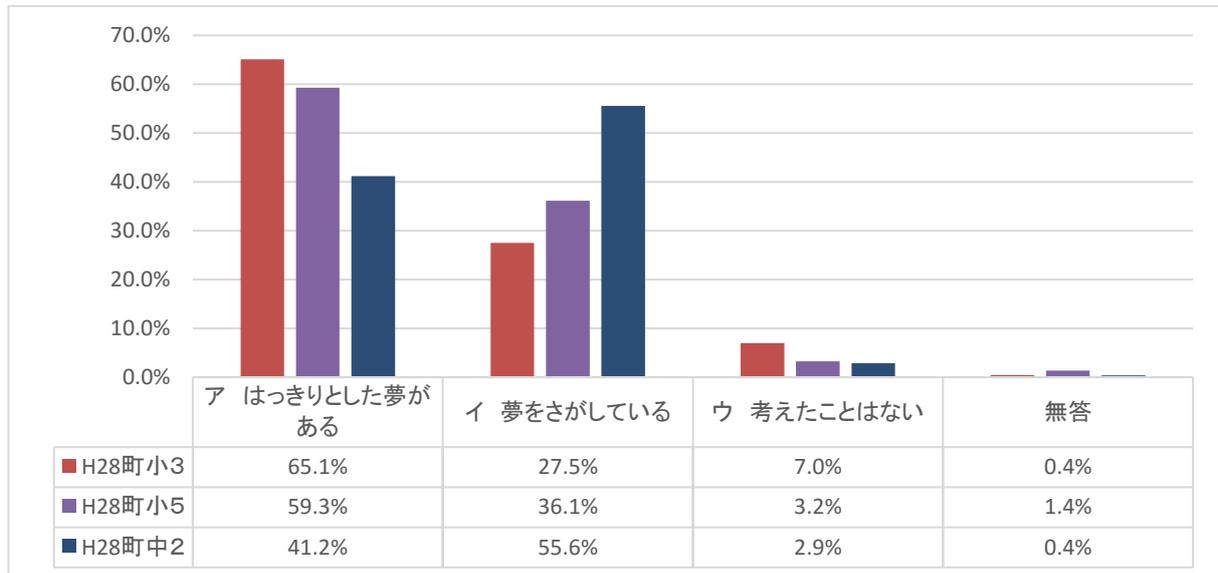
※その他の回答

- ・家や学校で友達と遊べる場所
- ・食堂がある
- ・よくわからない
- ・散歩ができる
- ・いやしの里がすき
- ・八王子神社
- ・いつも静かで涼しいところ
- ・花畑
- ・静かなところ(小3)
- ・車があまり通らないところ(小5)

<全体>

- 好きなところのある理由の一番多いものは、小3と中2で「イ 湖等の自然が多い」、小5で「ア 家族・友人等がいる」。二番目は、小3と中2で「ア 家族・友人等がいる」、小5で「イ 湖等の自然が多い」。三番目は各学年とも「コ 富士山が身近にある」となっている。これらの上位3つの回答で、小3は50%以上、小5・中2では60%以上となっている。
- 小学生に対して、中学生が比較的少ない回答として、「エ 公園等の遊び場が多い」と「キ 文化施設が多い」が挙げられる。

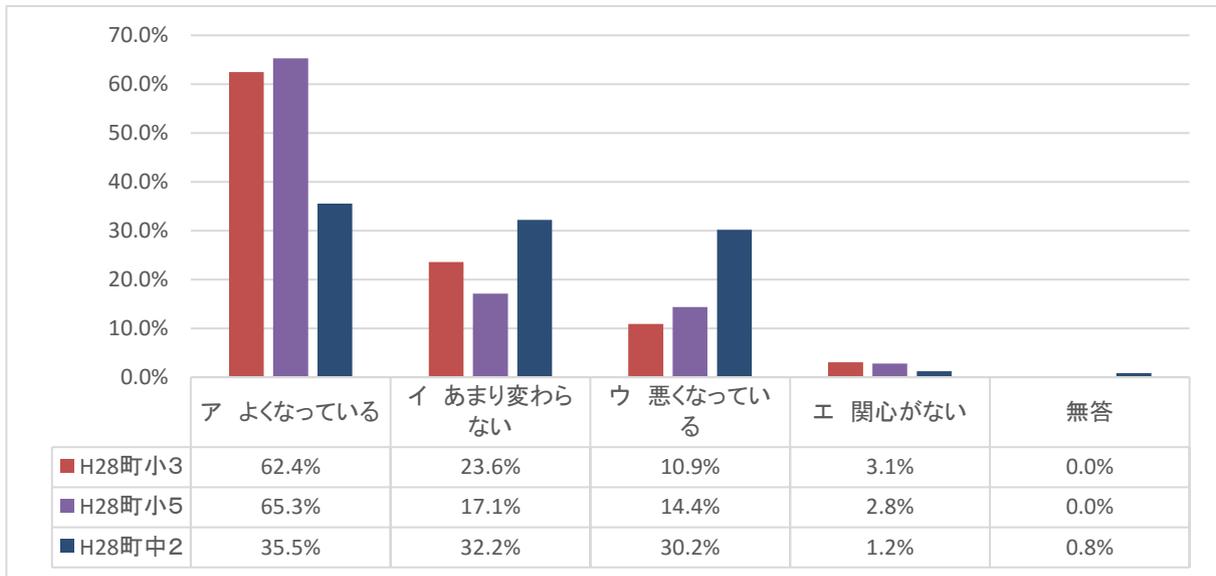
問 11 将来の夢を持っていますか。一番近いものを1つ選んでください。



<全体>

- はっきりとした夢がある割合は、小学生で6割程度だが、中2では4割程度になり、学年が上がるに従って減少している。
- 夢をさがしている割合は、学年が上がるに従って割合が上昇している。小3に対して中2の割合は約2倍となっている。
- 考えたことはない割合は、小3で7.0%、小5で半減し、中2でも減少しているが、小3から小5に比べ、小5から中2の減少の割合は小さい。

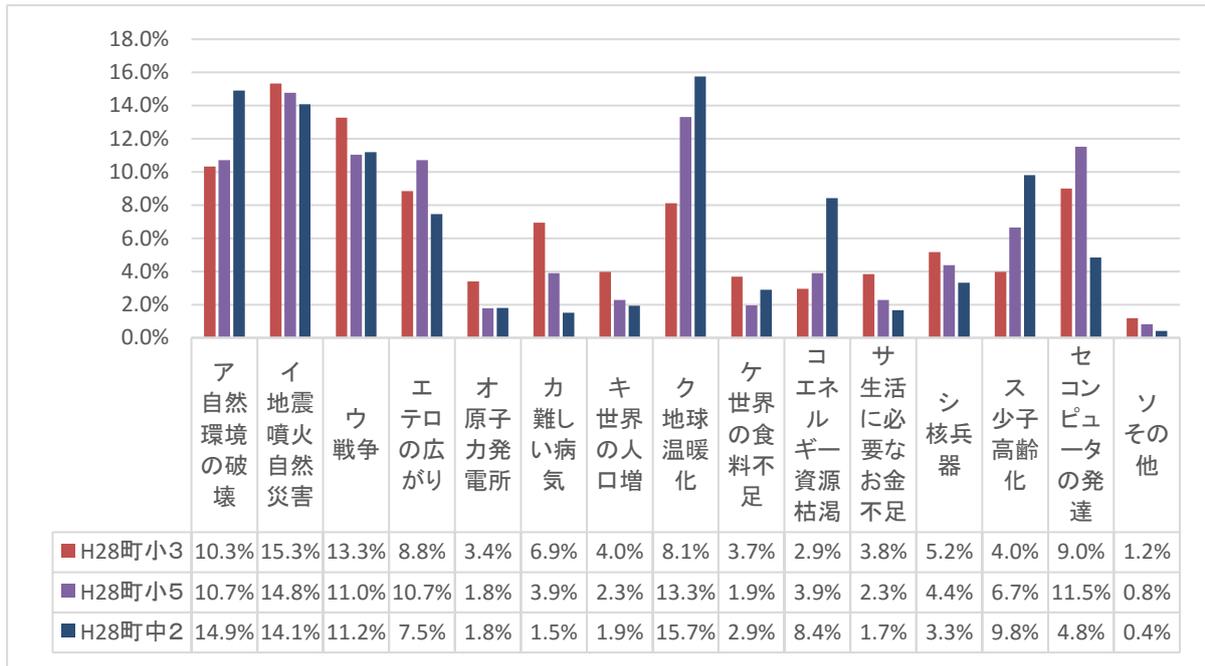
問 12 大人になったころの世の中はどのようになっていると思いますか。



<全体>

- 小学生と中学生では捉え方に大きな差がある。
- 小学生はよくなっていると考える児童が6割に達している。これに対して、中2は4割にも達していない。中学生の割合は小学生のほぼ半分となっている。
- 悪くなっているという答えは、小学生では15%以下だが、中学生は30%超となっている。
- 小学生では、「ア よくなっている」「イ あまり変わらない」「ウ 悪くなっている」の中で「ア よくなっている」という回答が抜きんでて多いが、中2ではそれぞれ同程度の割合となっている。
- 関心がないという割合は、4%以下で、学年が上がるにつれて低くなっている。

問 13 これからの社会の中で大きな問題になると思うものを選んでください。(3つまで)



※その他の回答

- ・よくわからない
- ・総理大臣が代わってこわいことをする
- ・消費税
- ・値上がり
- ・マナー違反が多いこと(小3)
- ・水が少なくなること(小5)
- ・若者の民度が低い、品格がない(中2)

<全体>

- 選択肢の回答の中でいずれも20%を超える回答はなく、比較的答えが分散していた。
- 多い回答として、「イ 地震・噴火等の自然災害」が小3と小5で1番目、中2で3番目。「ク 地球温暖化」が中2で1番目、小5で2番目、小3で6番目。3つの学年とも10%を超えている回答は3つで、「ア 自然環境の破壊」「イ 地震・噴火等の自然災害」「ウ 戦争」。
- 小学生に比べ中学生の回答の割合が比較的多いのが「コ エネルギー資源の枯渇」、逆に小学生に比べ中学生の割合が比較的小さいのが「カ 難しい病気」。

問 14 卒業後どの学校まで進みたいですか。

選択肢	H28 町中 2
ア 中学校卒業まで	0.0%
イ 高等学校卒業	14.8%
ウ 短大・専門学校卒業	24.7%
エ 大学・大学院卒業	48.1%
オ わからない	12.3%

<全体>

- 中学校卒業までの希望者はいない。
- 高校卒業までの希望者は 15%程度である。
- 約半数の生徒が大学以上を希望している。
- 中 2 の時点で、わからないという答えも 10%超ある。

問 15 将来どのような大人になりたいですか。(3つまで)

選択肢	H28 町中 2
ア 自分らしさを持っている人	18.4%
イ いつも努力をしている人	10.3%
ウ 新しいことに挑戦する人	5.6%
エ 困難に打ち勝とうとする人	2.6%
オ 人の役に立てる人	17.2%
カ 健康で体力に自信がある人	2.3%
キ 社会のきまりやルールを守る人	5.6%
ク 得意なことを詳しく知っていたり 上手に出来たりする人	3.9%
ケ 正しいことや決められたことを最 後までやり遂げる人	5.2%
コ たくさんの友だちや仲間がいる人	10.3%
サ 人を思いやる心を持っている人	13.9%
シ みんなをまとめることができる人	1.1%
ス 海外で活躍できる人	2.7%
セ その他	0.6%
ソ わからない	0.3%

<全体>

- 1番多いのが「ア 自分らしさを持っている」で18.4%、続いて「オ 人の役に立てる」で17.2%、この2つの回答だけが15%を超えている。
- 上の2つに続き10%を超えているのが、「サ 人を思いやる心を持っている」「コ たくさんの友だちや仲間がいる」「イ いつも努力をしている」である。
- 特に集中して多い回答がなく比較的分散している。
- 一番多い回答が「ア 自分らしさを持っている」だが、「オ 人の役に立てる」「サ 人を思いやる心を持っている」「コ たくさんの友だちや仲間がいる」など、他者との直接の関係を示すことが上位を占めている。